② 貸借対照表の注記　（単位：千円）

注）利益剰余金のうち、法人移行時における固有の会計処理等に起因するもの

① 国からの承継時において、附属病院の建物、構築物等の時価評価等により、借入金見合いの資産の額が、当該借入金に係る債務負担額を下回っていたこと等によるもの

附属病院に関する借入金の元金償還額の累計	18,720,513
当該借入金により取得した資産の減価償却費の累計	18,486,168
利益剰余金に与える影響額（差引き）	234,345

② 国立大学法人等が獲得した附属病院収益と診療機器等に係る減価償却費見合いの収益化額が二重になっていることによるもの

法人移行時に国から承継した資産について承継時に負債として計上していた額のうち、資産の減価償却費が診療経費に分類されるものに関する当該負債の収益化累計額	321,305

③ 国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる未収附属病院収入のうち、国からの出資でなく譲与としたことによるもの	135,270
④ 国からの承継時において、附属病院の財産的基礎と考えられる医薬品及び診療材料について、国からの出資でなく譲与としたことによるもの	202,454
合計	893,375

Ⅶ. 金融商品の時価等の開示

１．金融商品の状況に関する事項

本学は、資金運用については、国立大学法人法第35条の２が準用する独立行政法人通則法第47条及び国立大学法人法第33条の５第２項の規定に基づき、預金、有価証券及び金銭信託等で運用することとしており、現在公社債を保有しています。保有している社債は、金融商品取引法（昭和23年法律第25号）第66条の27の規定に基づき内閣総理大臣の登録を受けた信用格付業者のうち１社以上においてＡ相当以上の格付けを取得している発行体のものです。株式等は保有していません。なお、当該運用資産は、金利の変動による市場リスクや信用リスク等を包含していますが、学内規則である資金運用規程等に基づき適切なリスク管理を実施するとともに、資金の運用状況や管理状況については、資金運用に関する審議機関である役員会に報告しています。

資金調達については、大学改革支援・学位授与機構及び民間金融機関からの借入れにより調達しています。

その使途は附属病院及び学生寄宿舎の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しています。

また、未収附属病院収入は、学内規則である経理規程等に沿ってリスク管理を行っています。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、現金は注記を省略しており、預金、減価償却引当特定資産、未収学生納付金収入、未収附属病院収入、その他の未収入金及び未払金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しています。　（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴ 有価証券及び投資有価証券			
満期保有目的の債券	1,460,897	1,335,711	△ 125,186
⑵ 大学改革支援・学位授与機構債務負担金	(44,662)	(44,349)	(△ 313)
⑶ 長期借入金	(10,325,105)	(9,848,401)	(△ 476,704)
⑷ リース債務	(2,954,703)	(3,020,876)	(66,172)

（＊１）　負債に計上されているものについては、（　）で示しています。

３．金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の三つのレベルに分類しています。

レベル１の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル２の時価：レベル１のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル３の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しています。

⑴ 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

該当する金融商品はありません。

⑵ 時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債　（単位：千円）

区分	時価（＊１）			
	レベル１	レベル２	レベル３	合計
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券	1,335,711	—	—	1,335,711
大学改革支援・学位授与機構債務負担金		(44,349)	—	(44,349)
長期借入金	—	(9,848,401)	—	(9,848,401)
リース債務	—	(3,020,876)	—	(3,020,876)

（＊１）　負債に計上されているものは、（　）で示しております。

㈱ 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

有価証券及び投資有価証券

公社債は相場価格を用いて評価しています。これらは活発な市場で取引されているため、その時価をレベル１の時価に分類しています。

大学改革支援・学位授与機構債務負担金、長期借入金及びリース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて時価を算定しており、レベル２の時価に分類しています。

Ⅷ. 賃貸等不動産の時価等に関する注記

本学は、松江地区などにおいて寄宿舎等を有していますが、賃貸等不動産の総額が重要性に乏しいことから、注記を省略しています。

Ⅸ. 減損に関する注記事項

１．減損を認識した固定資産

⑴ 減損を認識した固定資産の概要　（単位：千円）

用途	種類	場所	帳簿価額
匹見演習林倉庫土地	土地	島根県益田市匹見町	1,910
匹見演習林圃場	土地	島根県益田市匹見町	222